

GeneXus™

Grow thru knowledge

GeneXus X Evolution 2

インストールガイド

2015年7月改訂

GeneXus Japan Inc.

Copyright © 2015 GeneXus Japan Inc. All rights reserved.

本書には正確な情報を記載するように努めました。ただし、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。なお、本書に記載されている画面はソフトウェアの更新などにより予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

本書に記載のその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。GeneXus Japan Inc. は他社製品の性能または使用につきましては一切の責任を負いません。

ジェネクス・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田2丁目27番3号

電話番号 : 03-6303-9381 FAX : 03-6303-9980

<http://www.genexus.jp>

目次

目次.....	3
はじめに.....	4
システム要件.....	5
ソフトウェア要件.....	5
ハードウェア要件.....	5
Smart Devices ジェネレーター要件.....	6
アプリケーションのインストール.....	7
ライセンス発行の流れ.....	14
ユーザー登録.....	16
重要：X EV2 U2 以前のバージョンからのアップグレードについて.....	19
X Evolution 2 Legacy ライセンスについて.....	19
ライセンスのアップグレード.....	20
ライセンス請求.....	24
新規ライセンス請求.....	24
継続ライセンス請求.....	28
ライセンスのアンインストール.....	30
ライセンス取得.....	32
重要：ライセンスの請求・取得に関する注意事項.....	35
新規ライセンス請求・取得に関する注意.....	35
継続ライセンス請求・取得に関する注意.....	36
ライセンスの移行.....	37
ネットワーク上のユーザーにライセンスを移行する.....	37
ライセンスの再発行について.....	47
エビデンスファイルを提出できる場合.....	47
エビデンスファイルを提出できない場合.....	49
緊急ライセンスについて.....	49
付録：ライセンス請求・取得チェックリスト.....	50
新規ライセンス請求・取得チェックリスト.....	50
継続ライセンス請求・取得チェックリスト.....	51

はじめに

本書では、GeneXus X Evolution 2 のインストール手順、ユーザー登録、ライセンスの請求および登録手順について説明しています。また、何らかのトラブルによって、ライセンスを喪失してしまった場合の再発行手順についても説明しています。

新規・継続に関わらず、ライセンス請求の前に注文書を弊社宛に郵送して頂く必要があります。また、弊社での注文書の確認前にライセンスの請求を行うと、ライセンスの発行が遅れる場合があります。なお、事前にユーザー登録された担当者以外のライセンスの請求は受け付けておりません。

トラブルによるライセンスの喪失の場合、画面のスクリーンショットやログファイルなどエビデンスが必要になります。また、これらのエビデンスが入手困難なトラブルの場合には、再発行依頼書に社判を押印のうえ、弊社宛に郵送して頂く必要があります。

GeneXus のライセンスの転売は禁止されております。同一のお客様および組織変更などの場合を除き、ほかのお客様に変更／譲渡することはできません。ライセンスの請求・登録の際には必ず内容を確認し、ライセンスの取り扱いには十分に注意してください。

システム要件

GeneXus X Evolution 2 を実行するには、次のようなハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

ソフトウェア要件

- Microsoft Windows XP SP2 以上
- Microsoft .NET Framework 3.5 SP1
- Microsoft SQL Server 2005/2008/2012 Express エディションまたは Standard エディション
- Microsoft Internet Explorer バージョン 6.0 SP1 以上。バージョン 8.0 以上を推奨。

ハードウェア要件

- プロセッサ: 1 GHz 以上 (マルチコアを推奨)。
- メモリー: 1 GB 以上の RAM (2 GB を推奨)。
- ハードディスク: インストールには 400 MB 以上の空き領域が必要。ナレッジベースを保存するには、追加の空き領域が必要となります。

Smart Devices ジェネレーター要件

- [IIS URL Rewrite 2.0](#) 以上
- **Android**
 - [Java JDK version 6](#)
 - [Android SDK](#) (Google API 7 および Google API 17)

詳細情報 : [Android 前提条件](#)

- **Blackberry**
 - [Java JDK version 6](#)
 - [BlackBerry JDE 5.0](#)
 - [Blackberry シミュレーター](#)

詳細情報 : [BlackBerry 前提条件](#)

- **Apple (iOS)**
 - Knowledge Base Navigator (iOS デバイス) :

生成したアプリケーションをプロトタイプするための Mac がない場合、[Apple Store で入手可能な Knowledge Base Navigator](#) を使って、直接デバイス (iPhone、iPad、iPod) にプロトタイプすることができます。
 - Xcode (Mac) :

Mac がある場合、iPhone / iPad のシミュレーターまたは直接デバイス上で、生成されたアプリケーションをプロトタイプすることができます。

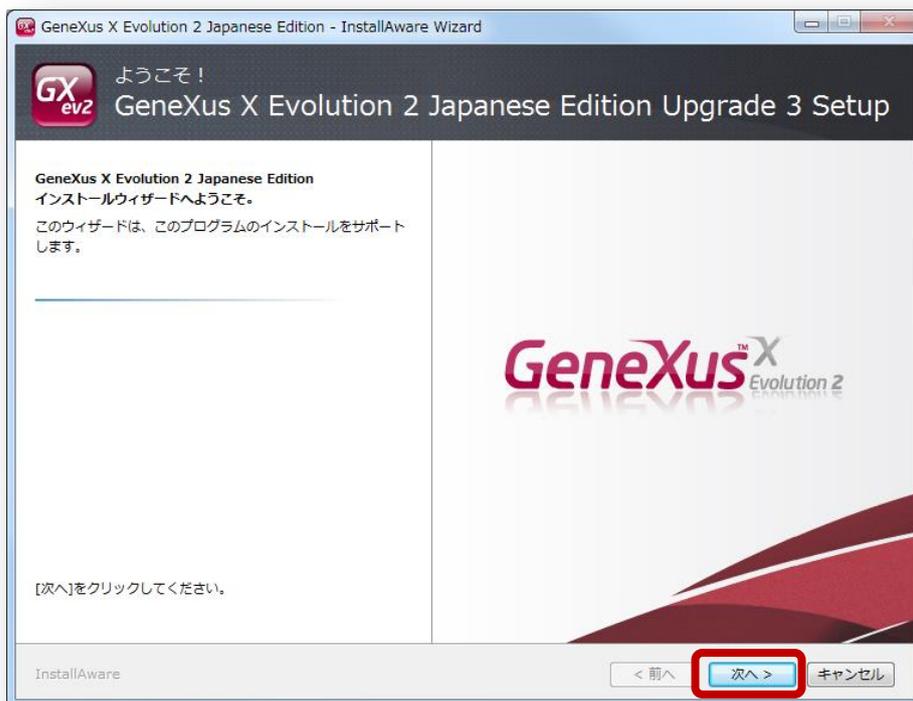
詳細情報 : [iOS 前提条件](#)

アプリケーションのインストール

このセクションでは、GeneXus X Evolution 2 をインストールするための手順について説明します。インストールを実行するには、管理者権限が必要です。インストールの前に必ず前述の「[システム要件](#)」(P5)を参照してください。使用するコンピューターがこのセクションに記載されている要件を満たしていることを確認してから、セットアッププログラムを実行する必要があります。

1. セットアッププログラム(「genexusxev2_uN_JP.exe」といった名称です。Nにはアップグレードバージョン番号が入ります)を右クリックして「**管理者として実行**」を選択します(XPの場合はダブルクリックします)。

次のような「インストールウィザード」画面が表示されます。

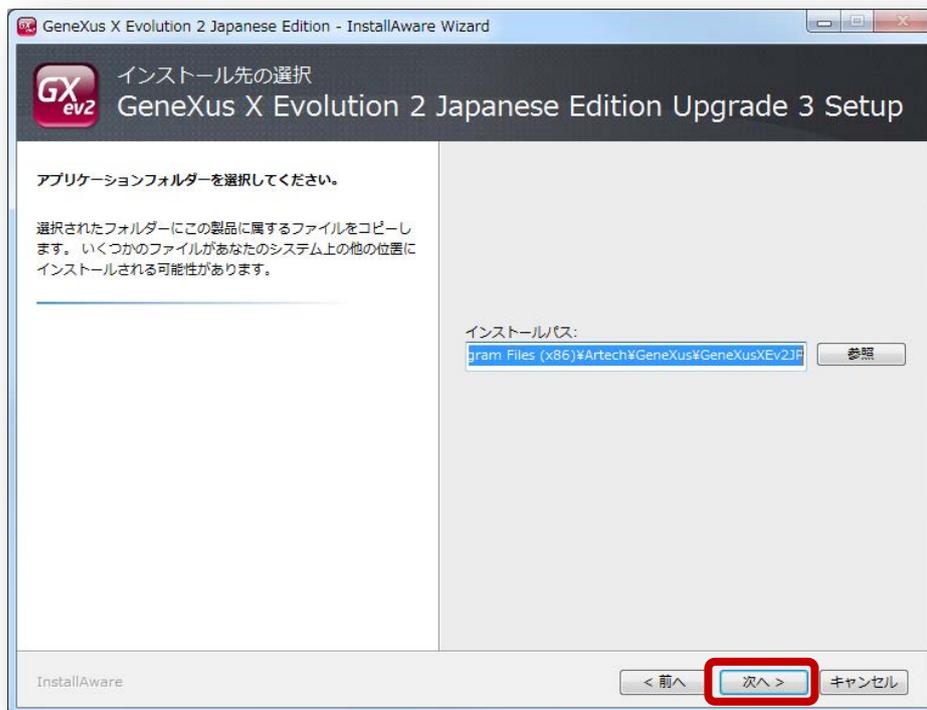


2. 「**次へ**」をクリックします。ライセンス規約が表示されます。
3. ライセンス使用許諾契約の内容を一読し、同意する場合は、画面右下部にある「**使用許諾書の条項に同意します**」のチェックボックスを選択します。

使用許諾書に同意すると、「**次へ**」のボタンが選択可能になります。

4. 「**次へ**」をクリックします。情報登録画面が表示されます。

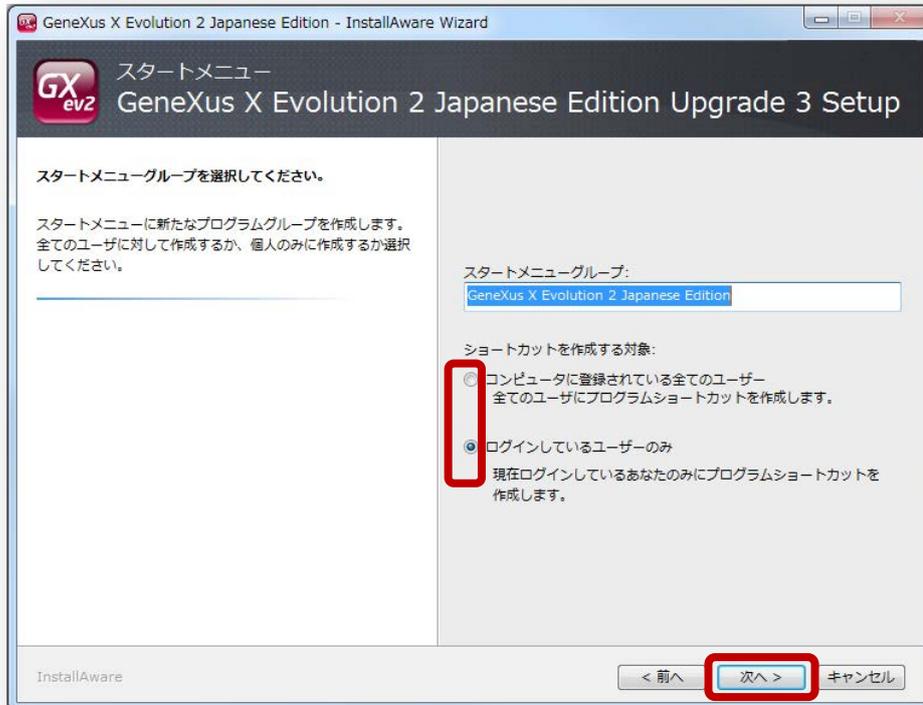
5. 「名前」フィールドに管理者の名前を入力し、「会社名」フィールドに会社名を入力します。
6. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール先の選択画面が表示されます。



7. 「インストールパス」セクションにインストールパスを指定します。右側にある「参照」ボタンをクリックして、任意の場所を指定することができます。

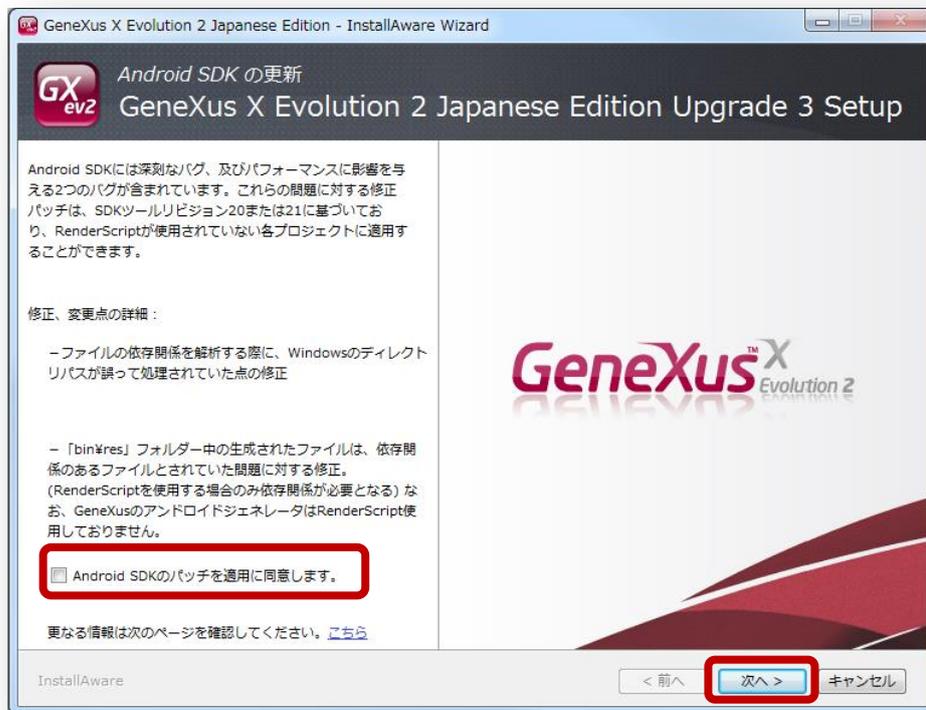
参考：既定のディレクトリーは c: \Program Files\Artech\GeneXus\GeneXusXEv2JP です。ほかのバージョンの GeneXus が使用しているディレクトリーは使用しないでください。

8. 「次へ」をクリックします。次のようなスタートメニューへの登録画面が表示されます。



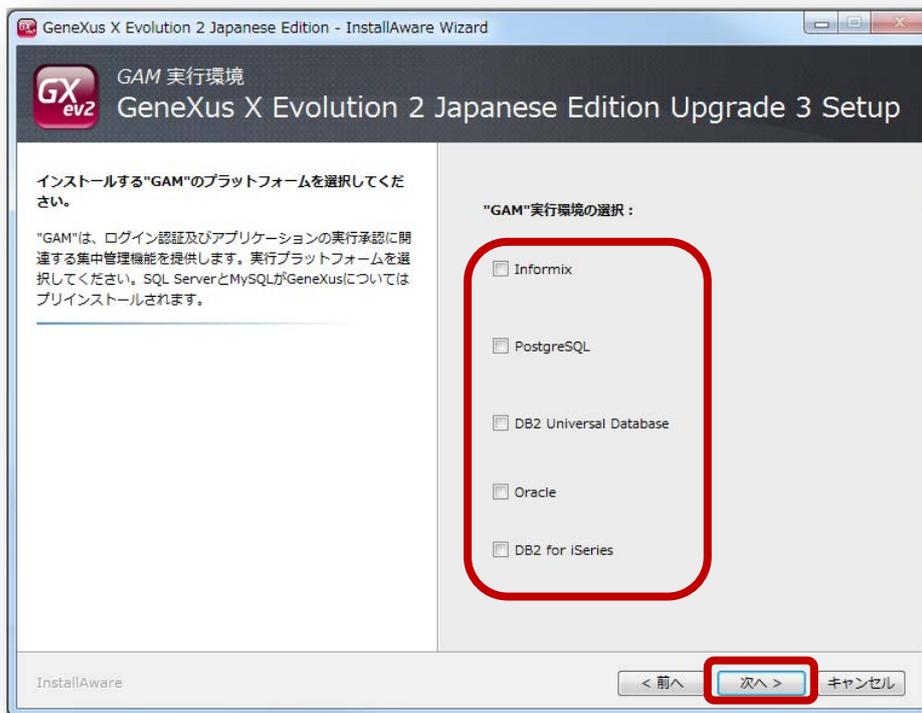
9. 「スタートメニューグループ」フィールドにアプリケーション名を指定します(既定では「GeneXus X Evolution 2 Japanese Edition」と表示されています)。**ショートカットを作成する対象**として以下のいずれかのオプションを選択します。
- 「コンピュータに登録されている全てのユーザー」：全てのユーザーにプログラムショートカットを作成します。
 - 「ログインしているユーザーのみ」：現在ログインしているユーザーにのみプログラムショートカットを作成します。

10. 「次へ」をクリックします。次のような Android SDK パッチに関する画面が表示されます。



11. お使いの環境に Android SDK がインストールされている場合、「**Android SDK のパッチを適用に同意します。**」のチェックボックスを選択し、Android SDK のバグを修正するためのパッチをインストールします。

12. 「次へ」をクリックします。ログイン認証およびアプリケーションの実行承認を集中管理する機能を提供する「GeneXus Access Manager (GAM)」の実行プラットフォームの選択画面が表示されます。

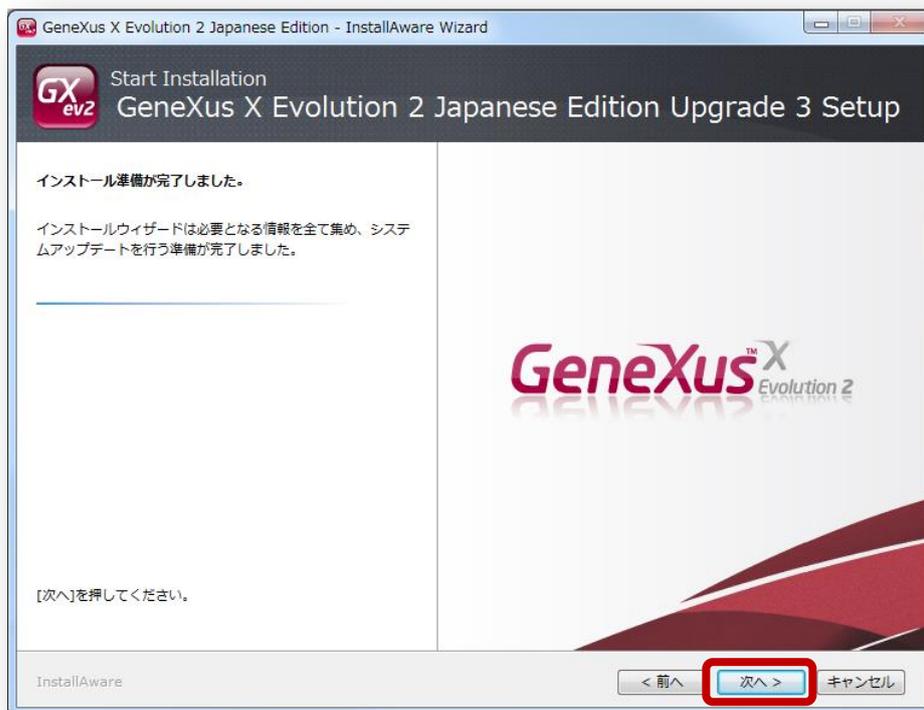


13. 次の中から任意のオプションを選択します。

- Informix
- PostgreSQL
- DB2 Universal Database
- Oracle
- DB2 for iSeries

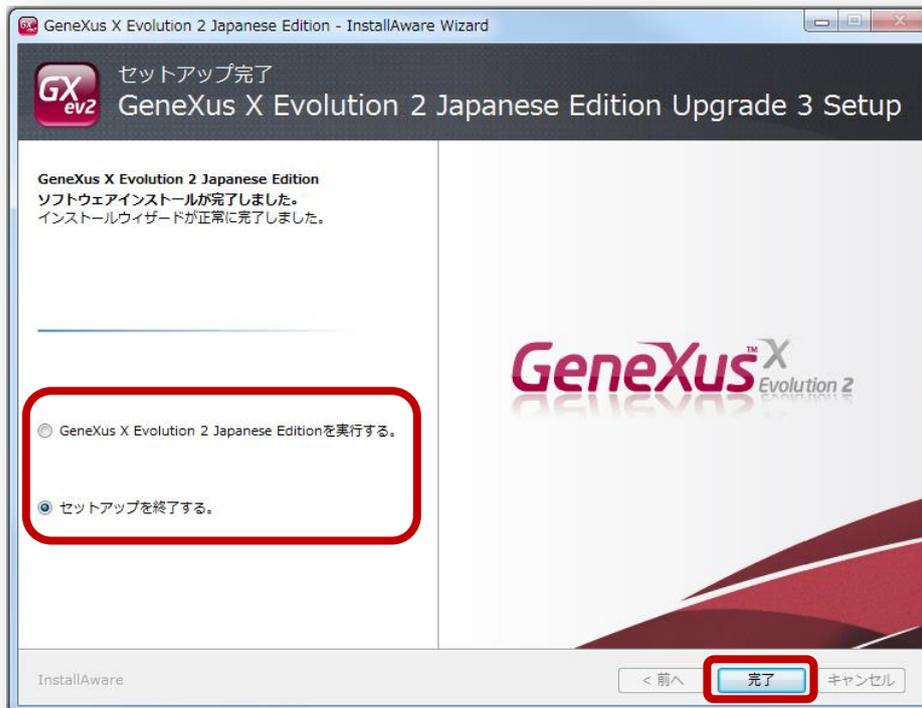
重要：上記の GAM オプションのインストールには、インターネット接続が必要です。SQL Server と MySQL はプリインストールされるため、選択オプションとして表示されません。後から追加で別の実行環境をインストールする場合やインターネット接続環境がない場合には、付属の「GAM_LocalInstaller」を使って個別にインストールすることができます。詳しくは、「GAM_LocalInstaller」に付属の書類を参照してください。

14. 「次へ」をクリックします。インストールウィザードにより、インストールに必要なアプリケーションがすべて揃っているかどうかを検証されます。インストール可能な状態である場合、次のようなインストールの開始画面が表示されます。



15. 「次へ」をクリックします。インストールの進捗状況を示すプログレスバーが表示されます。

16. 次のようなセットアップ完了の画面が表示されたら、次のいずれかのオプションを選択してから「完了」をクリックします。



- **GeneXus X Evolution 2 Japanese Edition を実行する。** : このオプションを選択すると、インストール完了後にアプリケーションが起動します。また、はじめて GeneXus を使用する場合や GeneXus Protection Server 上に GeneXus ライセンスがある場合には、ライセンス請求用のダイアログが表示されます。

「**オーソライズ請求**」ボタンをクリックすると、ライセンスを請求することができます。

参考 : このライセンス請求用のダイアログの設定内容は「**GeneXus License Manager**」と同一です。

- **セットアップを終了する。** : セットアップ プログラムを終了します。

これで GeneXus X Evolution 2 のインストールは完了です。アプリケーションを使用するには、ライセンスの請求/登録が必要です。後述の「[ライセンス請求](#)」(P24)の手順を参照してください。

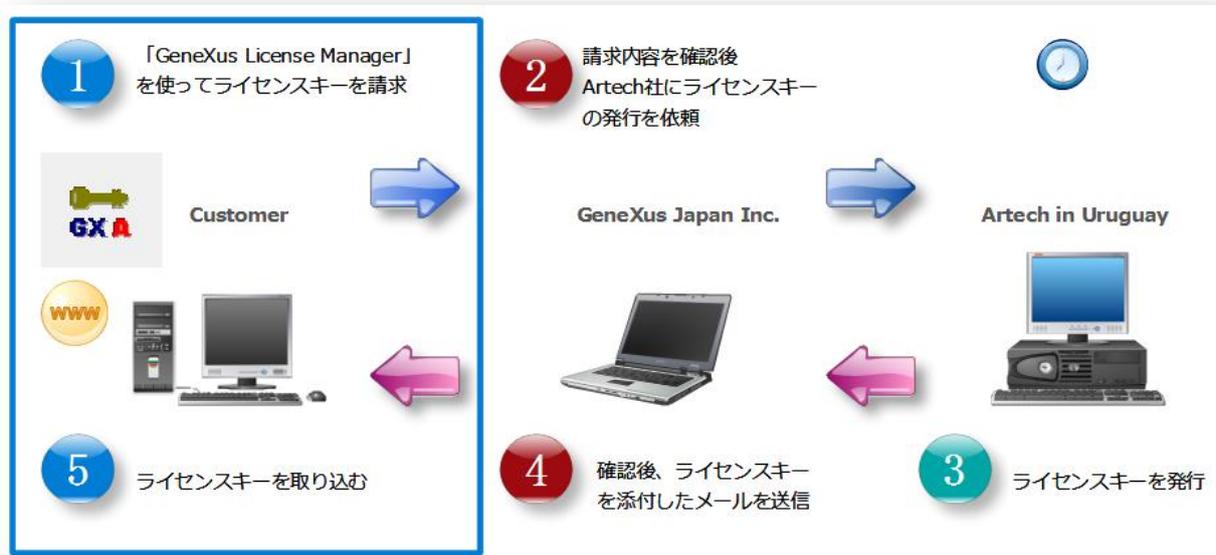
ライセンス発行の流れ

このセクションでは、GeneXusのライセンス請求、発行、取得（登録）までの流れを簡単に説明します。ライセンス請求に関する詳細な手順は後述の「[ライセンス請求](#)」(P24)を参照してください。

なお、ライセンスを請求する前に、あらかじめ GeneXus X Evolution 2 をインストールしておく必要があります。GeneXus のインストール方法については、前述の「[アプリケーションのインストール](#)」(P7)を参照してください。また、オンラインでライセンスを請求する場合には、事前にユーザー登録を行う必要があります。詳しくは後述の「[ユーザー登録](#)」(P16)を参照してください。

ライセンスの請求から取得までの主な流れは次のとおりです：

1. 使用するコンピューターから GeneXus License Manager を使ってライセンスキーを請求する
2. 請求内容を GeneXus Japan で確認し、ライセンスキーの発行を Artech 社に依頼する
3. Artech 社よりライセンスキーを発行する
4. ライセンスキーを GeneXus Japan で確認し、ライセンスキーを添付したメールを送信する
5. メールに添付されたライセンスキーを取り込む



注意： GeneXus パートナーから GeneXus X Evolution 2 を購入されたお客様の場合、上図の 1 および 4 はパートナー経由となります。以降のセクションを飛ばして「[新規ライセンス請求](#)」(P24)にお進みください。

重要：ライセンスキーは、「GeneXus X Evolution 2」をインストールしたマシンから請求する必要があります。ライセンスキーの請求に使用する「GeneXus License Manager」は「GeneXus X Evolution 2」にバンドルされています。また、複数のライセンスを一括請求し、それを個別のユーザーに配布することもできます。詳しくは後述の「[ライセンスの移行](#)」を参照してください。

重要：ライセンスの発行は Artech 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00~16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

ユーザー登録

GeneXus Japan の Web サイト内の「問題追跡システム」または「サポート」ページからユーザー登録を行います。ここで登録したユーザー名とパスワードは、オンラインライセンス請求のほかに、「問題追跡システム」、「フォーラム」、技術者向けの文書、プラグイン、製品、およびアップデートなどをダウンロード可能な「Gxtechnical」を利用する際にも使用します。

1. GeneXus Japan の Web サイト内にある「**問題追跡システム**」または「**サポート概要**」ページにアクセスします：<http://www.genexus.com/community-and-support-jp/support-overview?ja>



2. 画面右側にある「**新規登録**」をクリックします。

参考：既に「Gxtechnical」(www.gxtechnical.com) でユーザーアカウントを登録している場合、ユーザー登録は不要です。ライセンス請求をする際には、「Gxtechnical」のユーザー名とパスワードを使用してください。

3. 次のような「ユーザー登録」画面が表示されます。「*」の付いている項目は必須です。それぞれの入力フィールドに情報を入力します。

Japan > ユーザ登録

GeneXus コミュニティへ入会

名* 半角英数文字を指定してください

姓* 半角英数文字を指定してください

国*
URUGUAY

電子メール*

ユーザー名* 半角英数文字を指定してください

パスワード* 半角英数文字を指定してください

パスワードの再入力*

参照...

COLOR

プライバシーに同意します [ご利用条件](#)

アカウント作成

重要：「名」、「姓」、「ユーザー名」および「パスワード」は、必ず半角英数文字で指定してください。

4. すべての項目の入力が完了したら、「アカウント作成」ボタンをクリックします。
5. 下図のような画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。

Japan > ユーザ登録

私たちのコミュニティの一員になるまでにあと一步です。

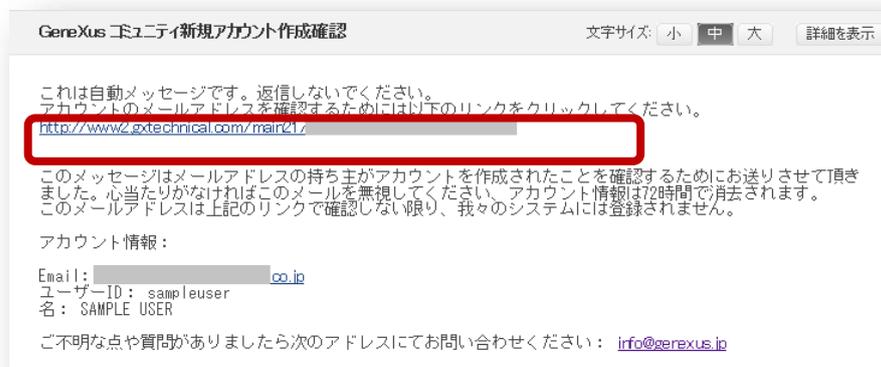
登録の完了を知らせるメールが [redacted] co.jp に送信されました。
続けるには、メールアドレスを確認してください。

完了

間もなく、下図のように指定したメールアドレスに「**GeneXus コミュニティ新規アカウント作成確認**」という件名のメールが届きます。



6. 「**GeneXus コミュニティ新規アカウント作成確認**」を開いて、メールの内容を確認します。下図のようにメールに記載されているリンクテキストをクリックします。



7. 既定のブラウザが開き、「新規アカウントの確認」画面が表示されます。内容を確認します。画面上のリンクテキストをクリックすると、GXtechnical のページが表示されます。



これでユーザー登録は完了です。ライセンスを請求/登録する場合は、後述の「[ライセンス請求](#)」(P24)および「[ライセンス取得](#)」(P32)の手順を参照してください。

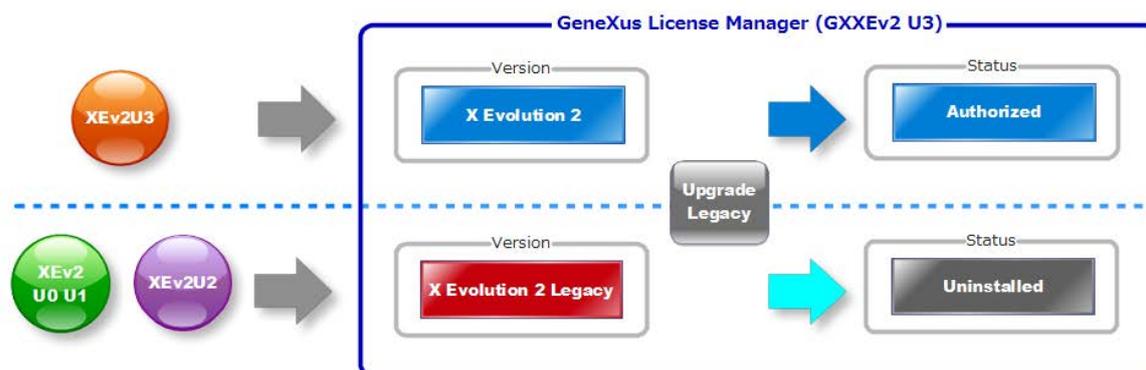
参考: 「GXtechnical」(www.gxtechnical.com) でユーザーアカウントを登録する場合、英文のユーザー登録確認メールが届きます。

重要：X EV2 U2 以前のバージョンからのアップグレードについて

GeneXus X Evolution 2 Upgrade 3（以降 GXxEv2U3）より、より強固なセキュリティ措置の一環としてライセンスキーのメカニズムが変更されました。これに伴い、GXxEv2U2 以前のバージョンから GXxEv2U3 にアップグレードした場合には、**ライセンスをアップグレードする必要があります**。このセクションでは、GXxEv2U3 にバンドルされる GeneXus License Manager でのライセンスの概要および GXxEv2U3 にアップグレード直後に必要なライセンスをアップグレードする方法について説明しています。Protection Server をお使いの場合には、別紙の「GeneXus X Evolution 2 Upgrade 3 リリースに伴う ProtectionServer 使用時の各製品の制限事項について」を参照してください。

X Evolution 2 Legacy ライセンスについて

GXxEv2U3 以降のバージョンの GeneXus にバンドルされる GeneXus License Manager では、GXxEv2U3 以降のライセンスの Version 表示は「X Evolution 2」、GXxEv2U2 以前のライセンスは「X Evolution 2 Legacy」という区分で識別されます。つまり、「X Evolution 2 Legacy」ライセンスは、GXxEv2U0 から GXxEv2U2 までのバージョンに対応した GXxEv2 用のライセンスであることを意味しています。



GeneXus License Manager(GXxEv2U3)でのライセンスの表示

重要：「X Evolution 2 Legacy」ライセンスでは、ライセンスを請求および継続請求することができません。これは GeneXus License Manager の「Authorization Wizard」上で「X Evolution 2 Legacy」ライセンスを選択することができないためです。ただし、一度「X Evolution 2 Legacy」ライセンスを GXxEv2U3 用の「X Evolution 2」ライセンスにアップグレードすると、下位互換性により GXxEv2U2 以前のバージョンも動作します。

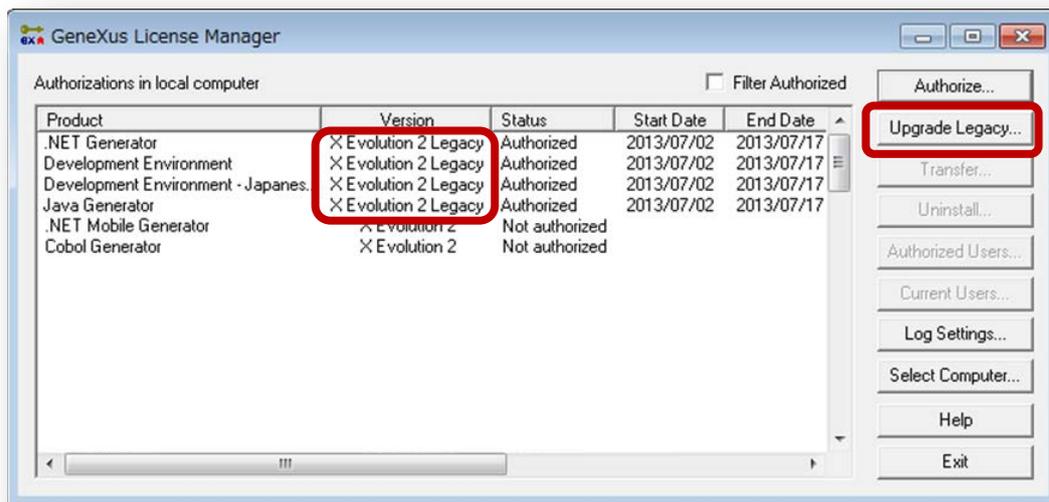
ライセンスのアップグレード

オンラインライセンスアップグレード

次の手順にしたがって、ライセンスをオンラインでアップグレードします。

1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します (Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



2. 「**Upgrade Legacy**」 ボタンをクリックします。次のような画面が表示されます。



3. 「Action」セクションの「Upgrade Online」ラジオボタンをクリックします。
4. 「GXtechnical」セクションの「User」および「Password」フィールドにGXtechnicalのユーザーIDとパスワードを入力してから、「Upgrade」ボタンをクリックします。

参考： GXtechnical セクションに入力できるのは、問題追跡システムの利用権限があるユーザーのみです。適切なユーザーIDとパスワードが入力されると、「Upgrade」ボタンが有効になります。

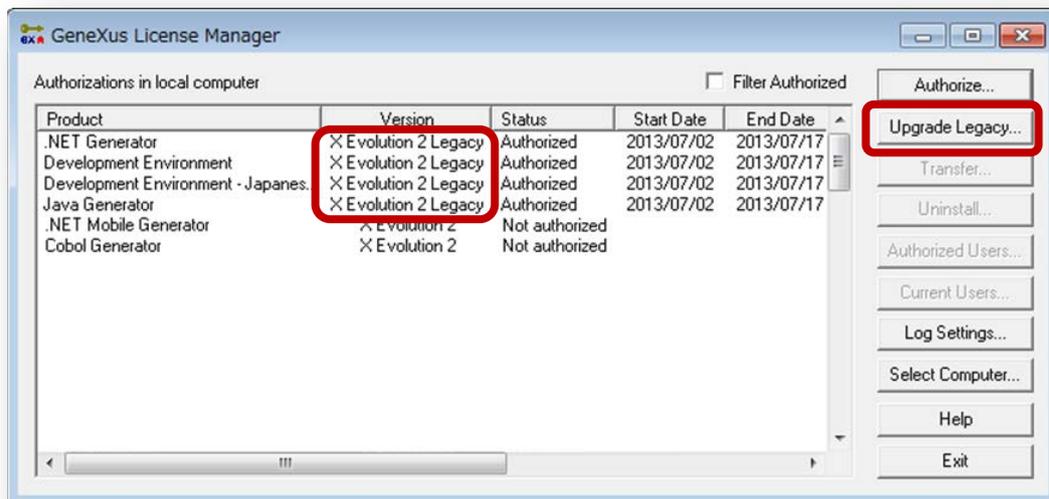
インターネットの接続状況によりますが、数秒でライセンスのアップグレードが完了します。

オフラインライセンスアップグレード

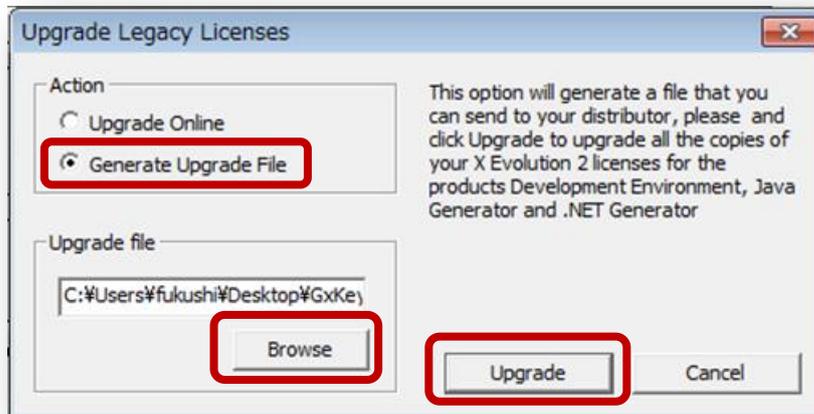
次の手順にしたがって、ライセンスをオフラインでアップグレードします。

1. GeneXusのプログラムグループから「GeneXus License Manager」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8の場合は「GeneXus License Manager」のショートカットを右クリックして「管理者として実行」オプションをクリックします）。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



2. 「Upgrade Legacy」 ボタンをクリックします。次のような画面が表示されます。



3. 「Action」セクションの「Generate Upgrade File」ラジオボタンをクリックします。
4. 「.gxa」という名前のファイルが生成されます。このファイルの保存先を変更する場合には、「Upgrade file」セクションの「Browse」ボタンをクリックしてから、任意の場所を指定します。
5. メールアプリケーションで新規メールを作成し、以下のファイルを keystmaster@genexus.jp に送信します。
 - 「GeneXus License Manager」の起動画面のスクリーンショット
 - 上記の手順で作成した「.gxa」ファイル

注意： GeneXus パートナーから GeneXus X Evolution 2 を購入されたお客様の場合、「.gxa」ファイルをパートナー宛に送信し、パートナーからライセンスキーを受領してください。

6. 弊社またはパートナーからのメールに添付されたライセンスファイルを、ライセンスを請求したコンピューターにコピーします。
7. GeneXus のプログラムグループから「GeneXus License Manager」アプリケーションを起動します (Windows Vista、Windows 7 の場合は「GeneXus License Manager」のショートカットを右クリックして「管理者として実行」オプションをクリックします)。
8. 「Authorize」ボタンをクリックします。

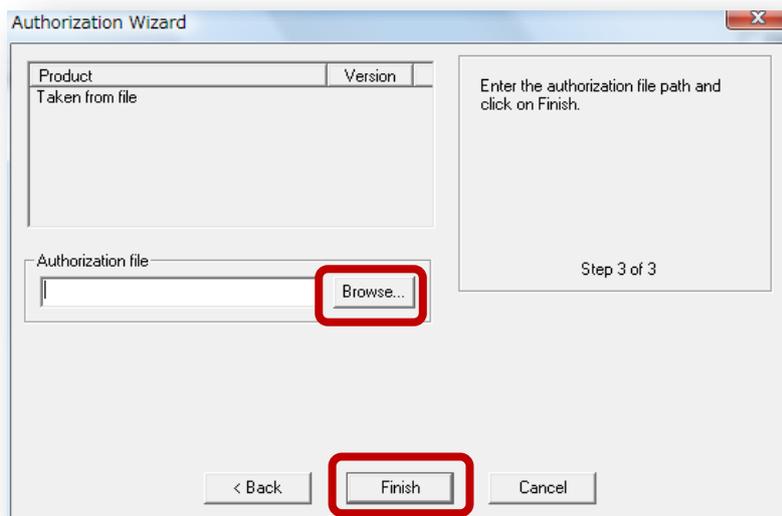
9. 次のような取り込み画面が表示されます。



10. 「**Enter Licenses**」を選択してから「**Next**」ボタンをクリックします。

11. ファイルからライセンスキーを取り込む場合は「**Authorize From File**」を選択して「**Next**」ボタンをクリックします。

次のようなライセンスファイルの選択画面が表示されます。



12. 「**Browse**」ボタンをクリックして、手順6でコピーしたファイルを選択し、「**Finish**」ボタンをクリックします。これでライセンスのアップグレードは完了です。

ライセンス請求

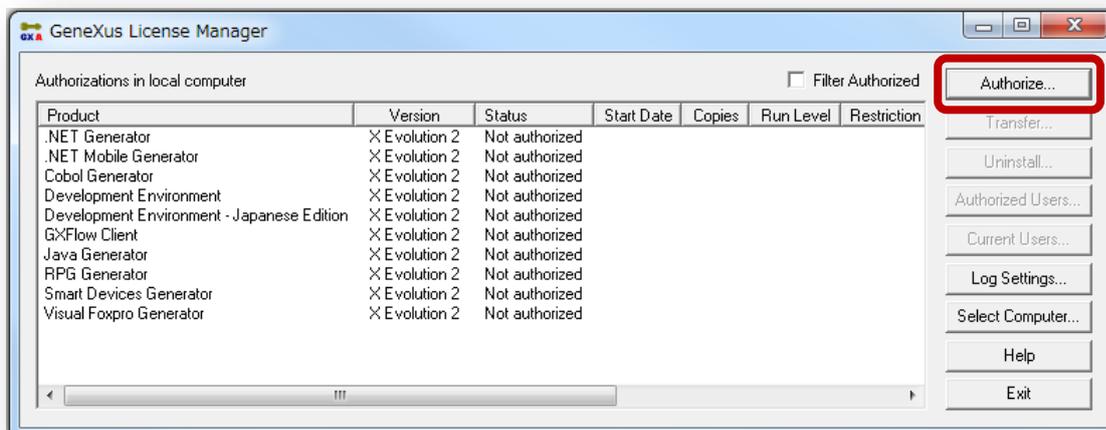
このセクションでは、ライセンスを新規で請求する場合、ライセンスの使用期限を残した状態で継続（期限の延長）請求する場合の手順について説明しています。また、オンラインとオフラインの2つの請求方法についても説明しています。

新規ライセンス請求

次の手順にしたがって、オフラインで新規にライセンスを請求します。

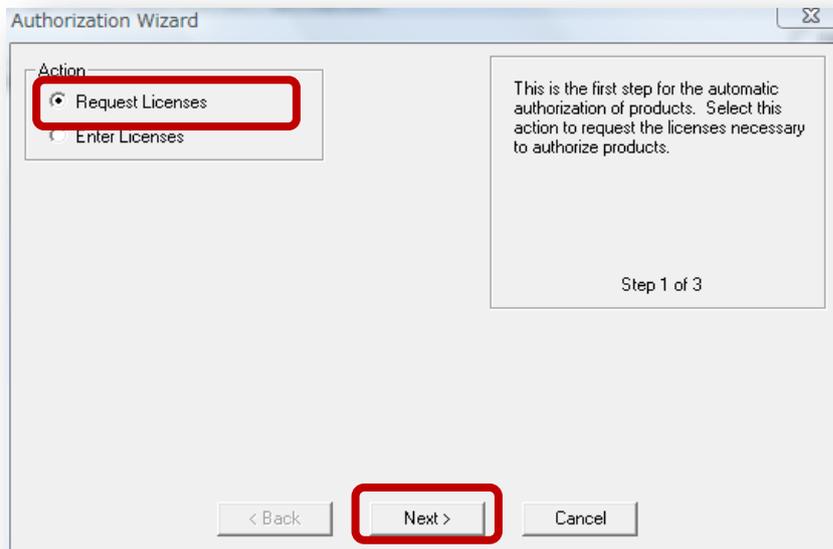
1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



2. 「**Authorize**」 ボタンをクリックします。

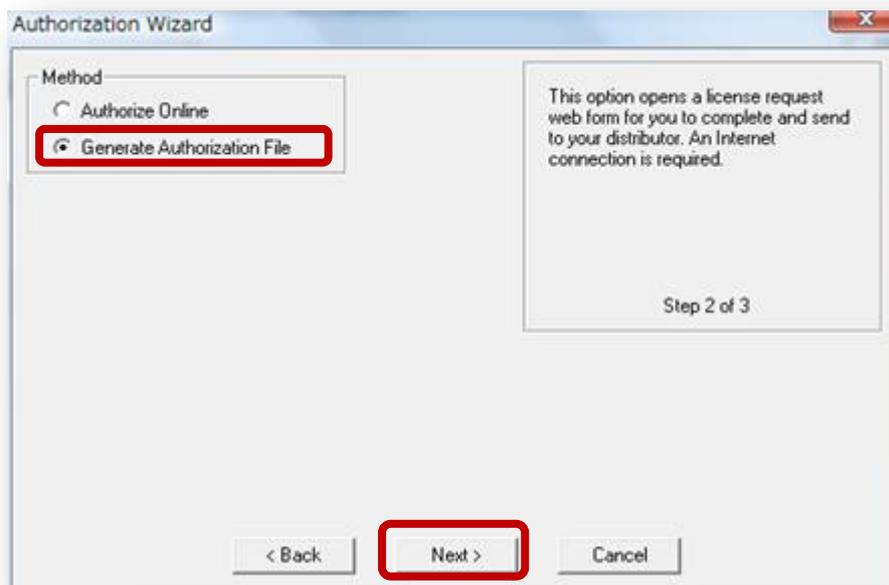
ライセンスの請求または取り込みオプションが表示されます。



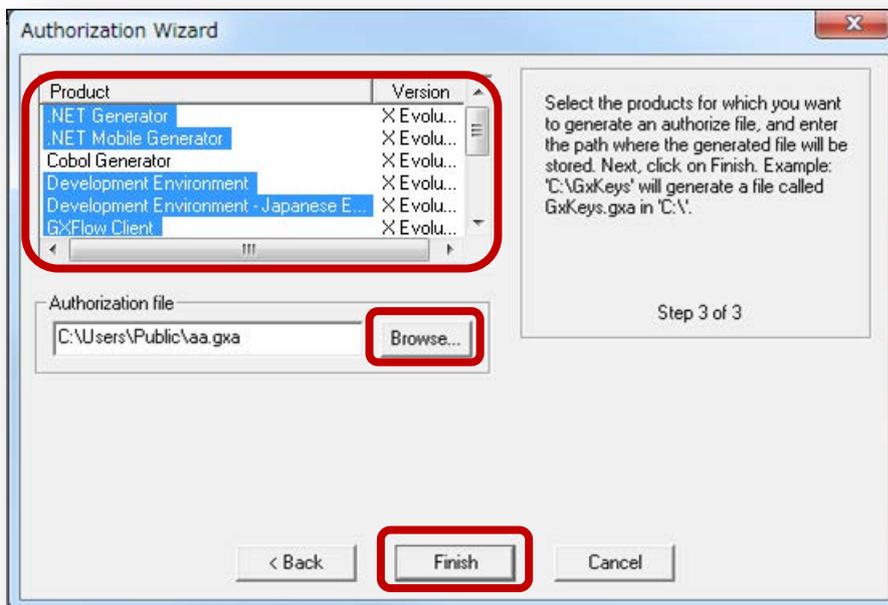
3. 「Request License」を選択してから「Next」ボタンをクリックします。

次のようなライセンス請求方法の選択画面が表示されます。請求方法はオンライン（Authorize Online）とオフライン（Generate Authorization File）の2種類があります。

4. ここでは「Generate Authorization File」を選択してから「Next」ボタンをクリックします。



ライセンスを請求する製品の選択画面が表示されます。



5. 「Product」リストから任意の製品を選択してから、「Finish」ボタンをクリックします。

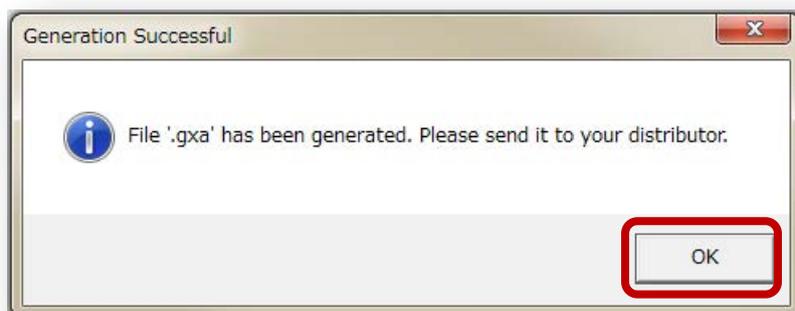
「Product」リストに表示される内容は次のとおりです。必要な機能をすべて選択してください：

- **.NET Generator**
- **.Net Mobile Generator**
- Cobol Generator: 日本では対応していない為、選択してもライセンスは発行されません。
- **Development Environment Japanese Edition:** 必須選択項目です。Ruby Generator はこれに含まれています。
- **GXFlow Client**
- **Java Generator**
- RPG Generator: 日本では対応していない為、選択してもライセンスは発行されません。
- **Smart Devices Generator**
- Visual FoxPro Generator: 日本では対応していない為、選択してもライセンスは発行されません。

参考：隣り合う複数の製品を選択する場合は Shift キーを押したままクリックします。それ以外の複数の製品を選択する場合は Control キーを押したままクリックします。

6. 「.gxa」という名前のファイルが生成されます。このファイルの保存先を変更する場合には、「Browse」ボタンをクリックしてから、任意の場所を指定します。

「.gxa」ファイルが生成されたことを示す、次のようなダイアログが表示されます。



7. 「OK」ボタンをクリックします。保存先を変更していない場合、GeneXus のプログラムと同じ場所に「.gxa」ファイルが保存されます。



8. メールアプリケーションで新規メールを作成し、手順 6 で生成した「.gxa」ファイルを keystmaster@genexus.jp に送信します。

注意： GeneXus パートナーから GeneXus X Evolution 2 を購入されたお客様の場合、「.gxa」ファイルをパートナー宛に送信し、パートナーからライセンスキーを受領してください。受領したライセンスキーを取り込む方法については、後述の「[ライセンス取得](#)」(P32)を参照してください。

ライセンスキーは、上記手順 7 の「.gxa」ファイルを送信したメールアドレスに送信されます。ライセンスを有効にする方法については、後述の「[ライセンス取得](#)」(P32)を参照してください。

重要： ライセンスの発行は Artech 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行ってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

継続ライセンス請求

ライセンスの有効日数が残存している状態で、有効日数を延長（ライセンスを継続）することができます。このセクションでは、継続ライセンス請求について説明します。

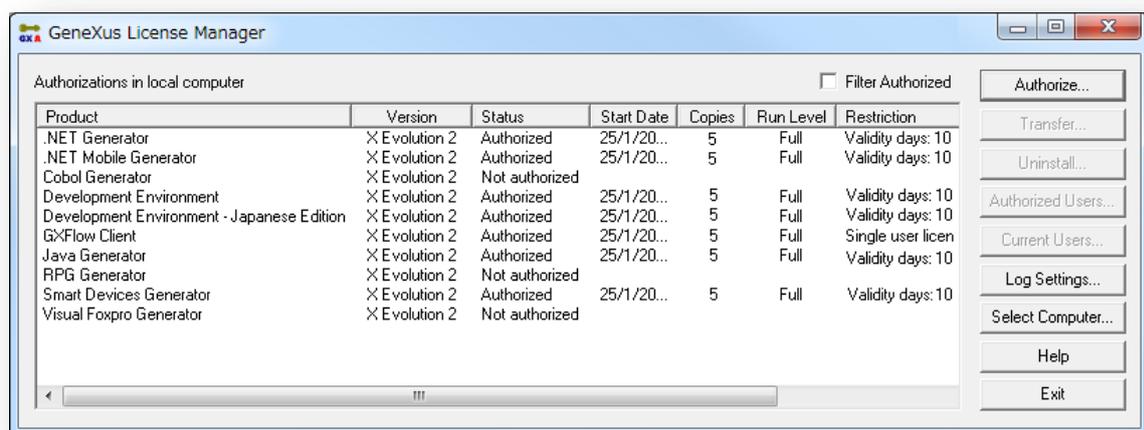
重要： GeneXus License Manager の「状態」が「期限切れ」（残存日数が「0」）になると、ライセンス失効により、GeneXus を使用できなくなります。ライセンスの期限切れを防ぐため、ライセンスの継続請求は 5 営業日前までにお願いします。ライセンスを失効した場合、新規にライセンスを請求しなおす必要があります。

また、ライセンス失効までの残存日数が「1日」の状態で請求する際には、ライセンスをアンインストールしてからライセンス請求する必要があります。これはウルグアイとの時差の都合により「1日」残されていた日数が消化され、「状態」が「期限切れ」となり、取り込みができなくなるためです。

次の手順にしたがって、継続ライセンスを請求します。

1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します (Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



2. 「GeneXus License Manager」の起動時の画面（上図を参照）のスクリーンショットを撮り、保存します。スクリーンショットには「**Product**」、「**Version**」、「**Status**」、「**Start Date**」、「**Copies**」、および「**Restriction**」の「**Validity Days**」の内容が表示されている必要があります。
3. [「新規ライセンス請求」](#) (P24)の手順 2～7 にしたがいます。
4. メールアプリケーションで新規メールを作成し、以下のファイルを keysmaster@genexus.jp に送信します。
 - 「GeneXus License Manager」の起動画面のスクリーンショット
 - 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイル
 - 上記の手順で作成した「.gxa」ファイル
 - 弊社より送付済みのライセンス発行台帳に記載のライセンス番号

注意： GeneXus パートナーから GeneXus X Evolution 2 を購入されたお客様の場合、「.gxa」ファイルをパートナー宛に送信し、パートナーからライセンスキーを受領してください。受領したライセンスキーを取り込む方法については、後述の「[ライセンス取得](#)」(P32)を参照してください。

以上で継続ライセンス請求は完了です。

ライセンスキーは、上記のファイルを送信したメールアドレスに送信されます。ライセンスを有効にする方法については、後述の「[ライセンス取得](#)」(P32)を参照してください。

重要： ライセンスの発行は Artech 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

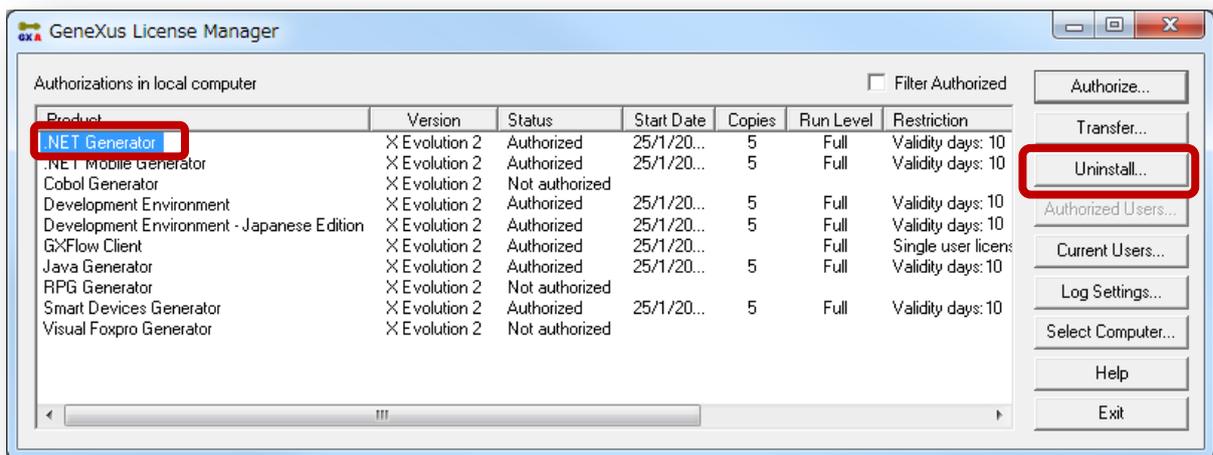
時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

ライセンスのアンインストール

ここではライセンスをアンインストールする方法について説明します。

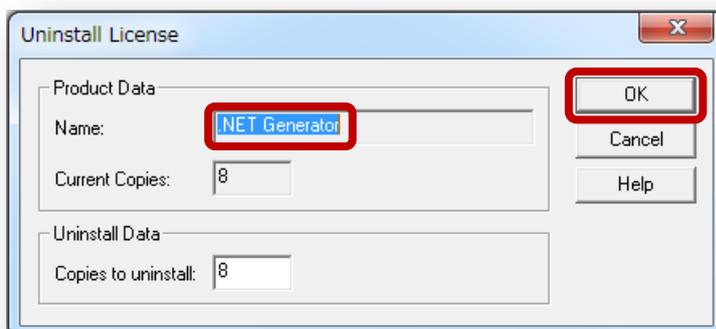
1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します (Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「**GeneXus License Manager**」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



2. アンインストールする製品を選択してから、「**Uninstall**」ボタンをクリックします。

次のような「**Uninstall License**」画面が表示されます。



3. 「Copies to uninstall」フィールドにアンインストールするライセンス数を入力してから「OK」をクリックします。
4. ほかの製品もアンインストールする場合は、手順 2～3 を繰り返します。

ライセンス取得

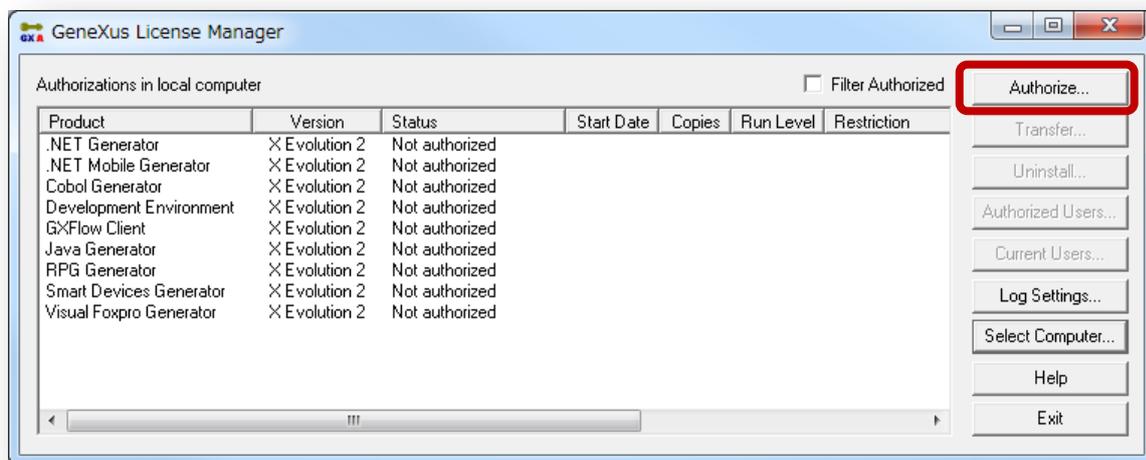
発行されたライセンスキーは、ユーザー登録済みのメールアドレスに送信されます。添付のファイルを開いて、ライセンスを請求したコンピューターにデータを取り込むことでライセンスを登録することができます。

このライセンスファイルを開くと、「**GeneXus License Manager**」が起動して自動的にライセンスキーを取り込み、取り込み結果が画面に表示されます。

ここでは、手動でライセンスファイルを取り込む場合の手順を説明します。

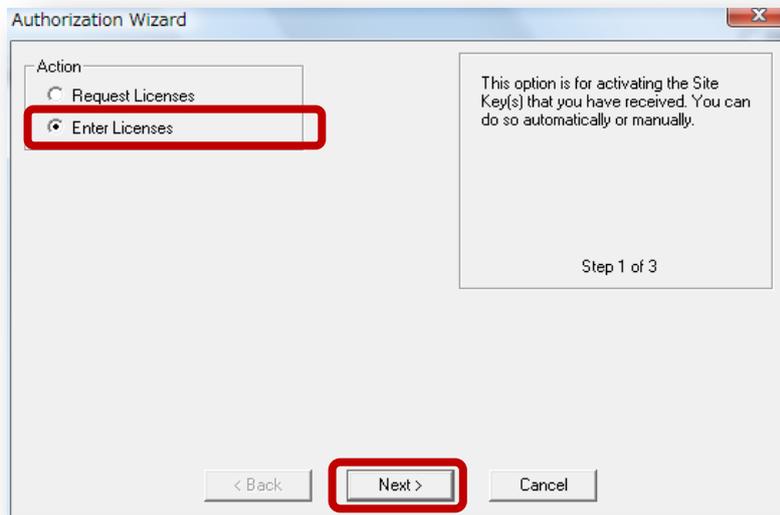
1. メールに添付されたライセンスファイルを、ライセンスを請求したコンピューターにコピーします。
2. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します (Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

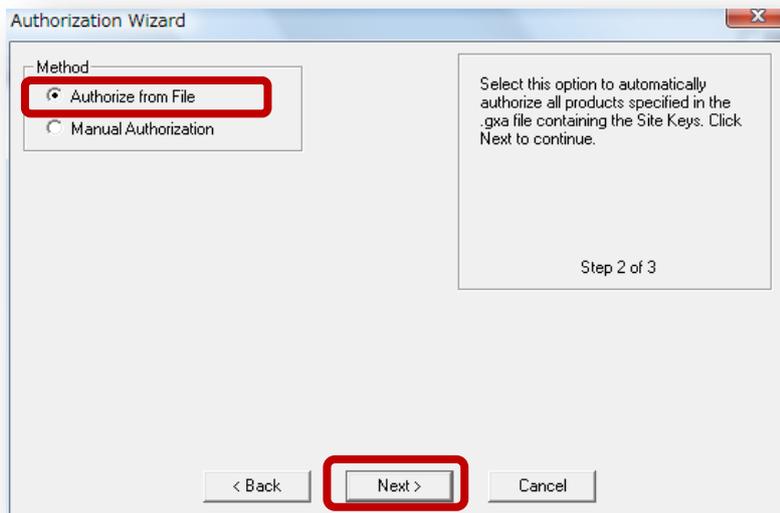


3. 「**Authorize**」ボタンをクリックします。

次のような取り込み画面が表示されます。

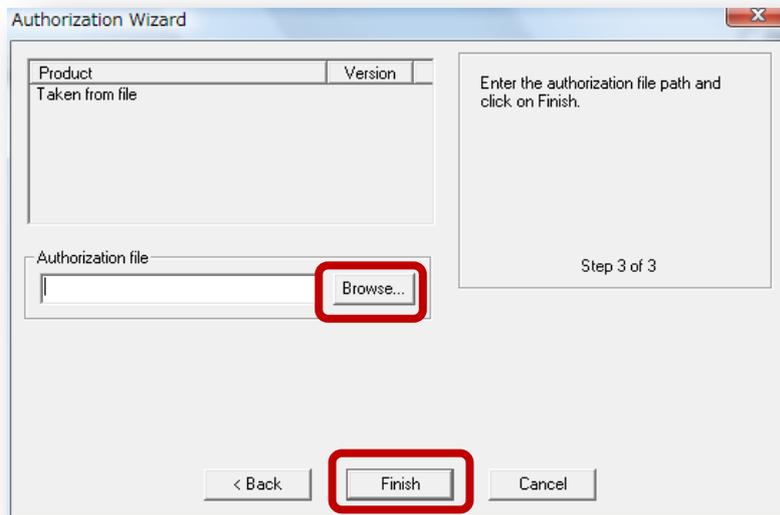


4. 「Enter Licenses」を選択してから「Next」ボタンをクリックします。
5. ファイルからライセンスキーを取り込む場合は「Authorize From File」を選択して「Next」ボタンをクリックします。



参考：「Manual Authorization」を選択すると、メールの本文に記載されている製品ごとの16進数の長いコードを指定する必要があります。このオプションを選択する場合は入力ミスがないように十分に注意してください。

次のようなライセンスファイルの選択画面が表示されます。



6. 「**Browse**」ボタンをクリックして、手順 1 でコピーしたファイルを選択し、「**Finish**」ボタンをクリックします。

これでライセンスの取得（登録）は完了です。

重要：ライセンスの請求・取得に関する注意事項

このセクションでは、新規および継続ライセンス請求・取得の際の制限ならびに注意点について記載しています。円滑にライセンスが発行されるよう、ここでの記載内容をご確認のうえ、新規および継続ライセンスの請求・取得を行ってください。

新規ライセンス請求・取得に関する注意

新規ライセンス請求・取得の際には、必ず以下の記載内容をご確認ください。

1. ライセンスの発行はウルグアイの Artech 社で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。また、ライセンスの請求受付時間は次のとおりです：

土日祝日・月末日・年末年始を除く 9:00～16:00

2. WorkWithPlus など他の製品と同時にライセンスを請求する場合であっても、製品ごとに個別にライセンス請求ファイルを作成する必要があります。GeneXus 以外の製品のライセンス請求については、該当製品のインストールガイドを参照してください。
3. GeneXus パートナーから GeneXus を購入されている場合、.gxa ファイルをパートナー宛に送信してください。

参考：「新規ライセンス請求・取得」を行う際は、巻末の「[付録：ライセンス請求・取得チェックリスト](#)」(P50) の「[新規ライセンス請求・取得チェックリスト](#)」(P50) に記載されている内容をご確認ください。記載されているチェック項目に 1 つでも当てはまらない項目がある場合（オプションを除く）、正しくライセンスが発行されない、または取り込めない可能性があります。

継続ライセンス請求・取得に関する注意

継続ライセンス請求・取得の際には、必ず以下の記載内容をご確認ください。

1. ライセンスの発行はウルグアイの Artech 社で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。
また、ライセンスの請求受付時間は次のとおりです：

土日祝日・月末日・年末年始を除く 9:00～16:00

2. GeneXus License Manager の「状態」が「期限切れ」(残存日数が「0」)になると、ライセンス失効により GeneXus を使用できなくなります。

ライセンスの期限切れを防ぐため、ライセンスの継続請求は 5 営業日前までをお願いします。

3. ライセンスが既に期限切れの場合、新規にライセンスを請求しなおす必要があります。

また、ライセンス失効までの残存日数が「1日」の状態でご請求する際には、ライセンスをアンインストールしてからライセンスを請求してください。

4. WorkWithPlus など他の製品と同時にライセンスを請求する場合であっても、製品ごとに個別にライセンス請求ファイルを作成する必要があります。GeneXus 以外の製品のライセンス請求については、該当製品のインストールガイドを参照してください。

5. 継続ライセンス請求の場合、次のファイルと情報を GeneXus パートナーまたは keystmaster@genexus.jp までお送りください。

- 「GeneXus License Manager」の起動画面のスクリーンショット
- 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイル
- 「継続ライセンス請求」の手順 3 で作成した「.gxa」ファイル
- 注文書に記載されているライセンス番号

参考：「継続ライセンス請求・取得」を行う際は、巻末の「[付録：ライセンス請求・取得チェックリスト](#)」(P50) の「[継続ライセンス請求・取得チェックリスト](#)」(P51)に記載されている内容をご確認ください。記載されているチェック項目に 1 つでも当てはまらない項目がある場合（オプションを除く）、正しくライセンスが発行されない、または取り込めない可能性があります。

ライセンスの移行

複数のライセンスを一括で請求した後で、GeneXus を使用する各ユーザーにトランスファー（.trf）ファイルを作成して配布（移行）することができます。この場合、各ユーザーのコンピューターにインストールされている「GeneXus License Manager」のバージョンは、ライセンスの移行元のコンピューターにインストールされているバージョンと同一である必要があります。これとは逆に、個別に請求したライセンスを一箇所にまとめることもできます。ただし、ライセンスの有効日数（残存日数）が同じである必要があります。この場合も「GeneXus License Manager」のバージョンが同じでなければなりません。

ライセンスの移行には次の 2 通りの方法があります：

- **Direct Transfer:** このオプションでは、ライセンス管理者のコンピューター（ソースマシン）または Protection Server（ソースサーバー）から、同じネットワーク上の別のユーザーのコンピューター（ターゲットマシン）または Protection Server（ターゲットサーバー）に 1 つ以上のライセンスを移行することができます。GeneXus Protection Server がターゲットサーバーにインストールされている必要があります。
- **Register Transfer:** このオプションは、2 台のコンピューター間で 1 つ以上のライセンスを移行する場合に使用します。2 台のサーバー間、2 台のコンピューター間、サーバーとクライアントコンピューター間、クライアントコンピューターとサーバー間で実行可能です。

ネットワーク上のユーザーにライセンスを移行する

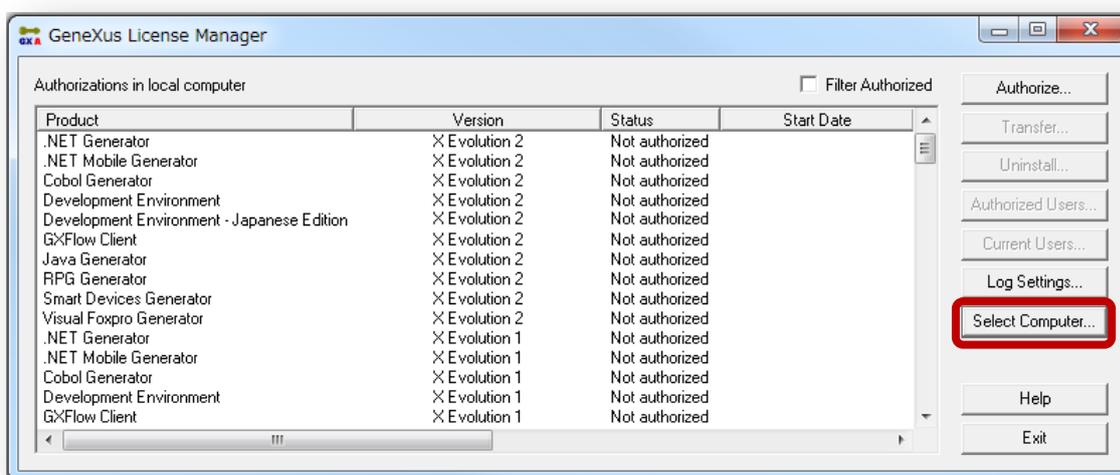
このセクションでは、Protection Server（ソースサーバー）またはライセンス管理者のコンピューター（ソースマシン）からネットワーク上の別のユーザーのコンピューター（ターゲットマシン）またはサーバー（ターゲットサーバー）にライセンスを移行する方法について説明します。

重要：ライセンスを移行する前に各ユーザーのコンピューターおよびサーバーにインストールされている「GeneXus License Manager」のバージョンが同じであることを確認してください。異なるバージョン間ではライセンスの移行はできません。

重要：複数の製品のライセンスを移行する場合、製品ごとにトランスファーファイルを作成する必要があります。ただし、同一製品のライセンスであれば、1 つのトランスファーファイルに複数格納することができます。

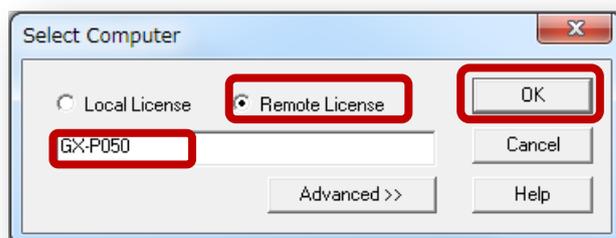
Protection Server からライセンスを移行する

1. ターゲット（ライセンスの移行先）マシンまたはサーバーの GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

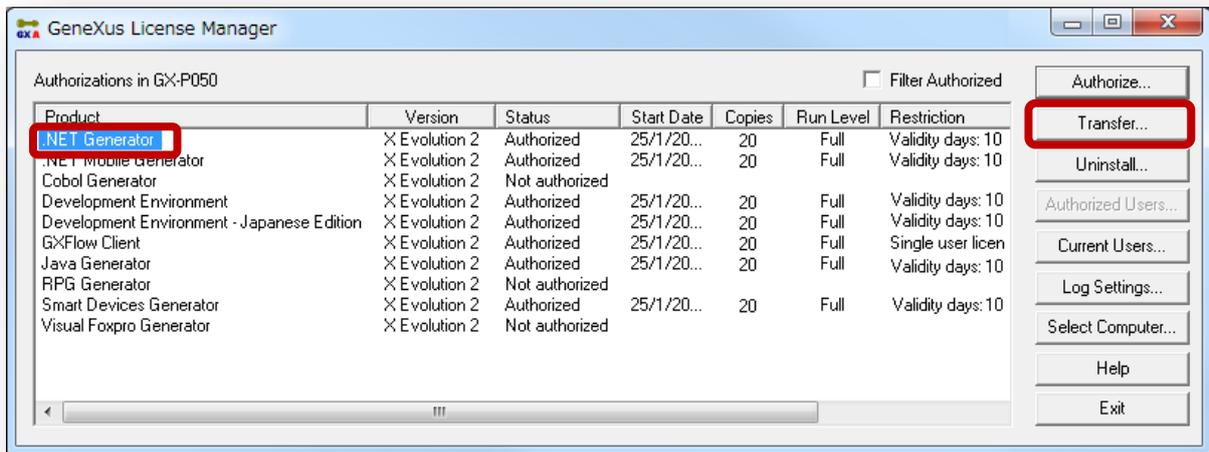


参考：上図ではまだライセンスを取得していないため、「Status」は「Not authorized」となっています。また、画面左上には、「Authorization in local computer」と表示され、ローカルの GeneXus License Manager であることを示しています。

2. 「**Select Computer**」ボタンをクリックします
3. 「**Remote License**」ボタンをクリックして、すぐ下の入力フィールドにソースサーバー（ライセンスの移行元）の IP アドレスまたは名前を指定し、「**OK**」ボタンをクリックします。

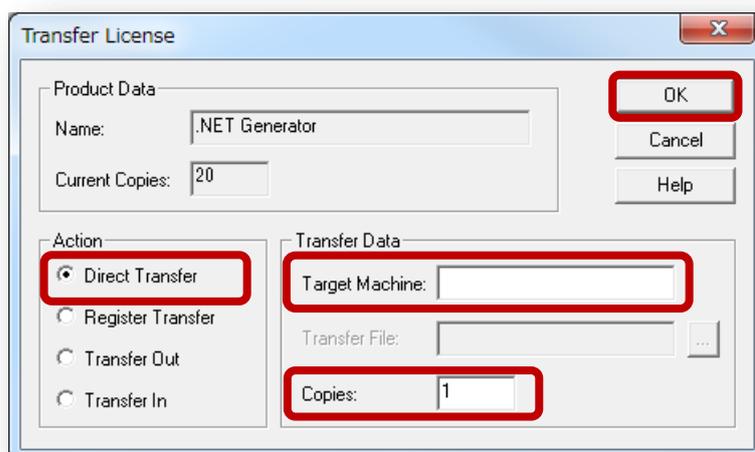


4. ソースサーバー（ライセンスの移行元）のライセンスが表示されたら、移行したい製品を選択し、「Transfer」をクリックします。



参考：上図では、ライセンスの移行元（この例では GX-P050 という名前のサーバー）のライセンスの状態が表示されています。また、画面左上には、「Authorization in GX-P050」と表示され、リモートでソースサーバーのライセンスを参照していることを示しています。

5. 「Action」セクションの「Direct Transfer」ボタンをクリックし、「Target Machine」フィールドにターゲットマシン（ライセンスの移行先のコンピューターまたはサーバー）を指定し、「Copies」フィールドに移行するライセンス数を指定します。



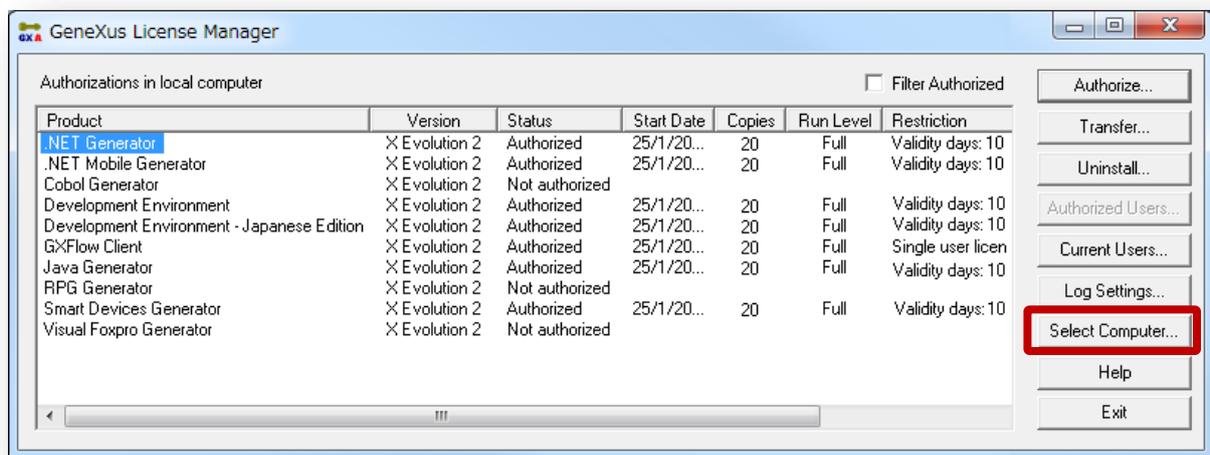
6. 「OK」をクリックします。ほかのライセンスも移行する場合は手順 2～5 を繰り返します。これでライセンスの移行は完了です。

ライセンスがインストールされているマシンからライセンスを移行する

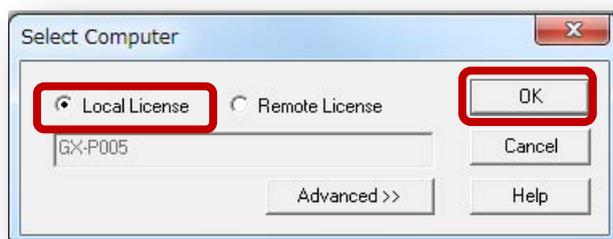
1. ソースマシン（ライセンスがインストールされているコンピューター）の GeneXus のプログラムグループから「GeneXus License Manager」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「GeneXus License Manager」のショートカットを右クリックして「管理者として実行」オプションをクリックします）。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。

この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



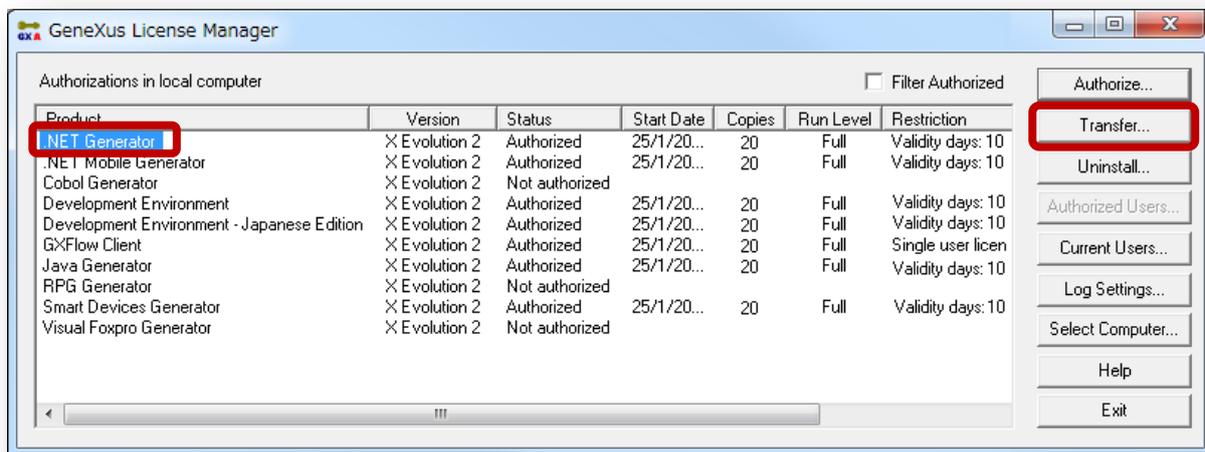
2. 「Select Computer」をクリックします。「Select Computer」ウィンドウが表示されます。



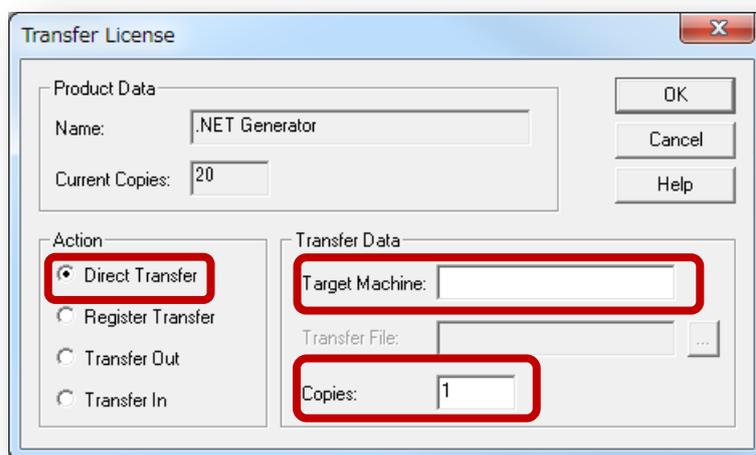
3. 「Local License」のオプションが選択されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。

「License Manager」の起動画面に戻ります。

2. 移行したい製品を選択し、「Transfer」をクリックします。



3. 「Action」セクションの「Direct Transfer」ボタンをクリックし、「Target Machine」フィールドにターゲットマシン（ライセンスの移行先のコンピューターまたはサーバー）を指定し、「Copies」フィールドに移行するライセンス数を指定します。



4. 「OK」をクリックします。ほかのライセンスも移行する場合は手順 2～5 を繰り返します。これでライセンスの移行は完了です。

参考： 移行するライセンスがコンピューターにインストールされている場合、「Direct Transfer」オプションはそのコンピューター（ソースマシン）から実行する必要があります。移行するライセンスがサーバーにインストールされている場合には、ソースサーバーからでもターゲットサーバーからでも実行することができます。

2台のコンピューター間でライセンスを移行する

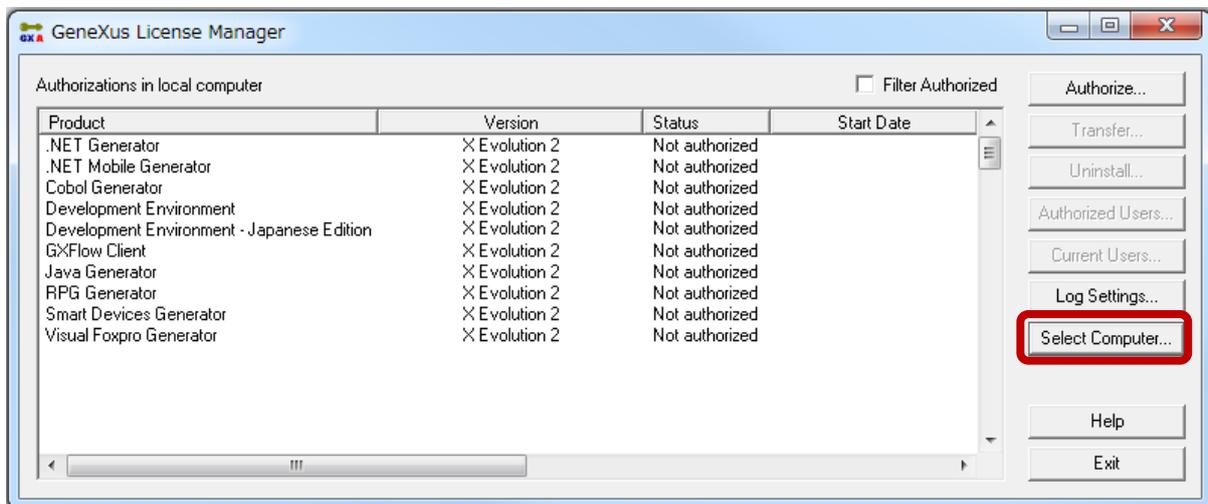
ここでは、2台のコンピューター間で1つ以上のライセンスを移行する方法について説明します。この場合、はじめにライセンスの移行先のコンピューター（ターゲットマシン）でライセンス情報の登録用ファイルを作成（Register License）し、次にライセンスがインストールされているコンピューター（ソースマシン）でライセンス情報を書き出し（Transfer Out）、最後にターゲットマシンでライセンスを読み込む（Transfer In）操作を実行する必要があります。

重要：ライセンスを移行する前に各ユーザーのコンピューターおよびサーバーにインストールされている「GeneXus License Manager」のバージョンが同じであることを確認してください。異なるバージョン間ではライセンスの移行はできません。

1. ターゲットマシン（ライセンスの移行先）の GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します (Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。

この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



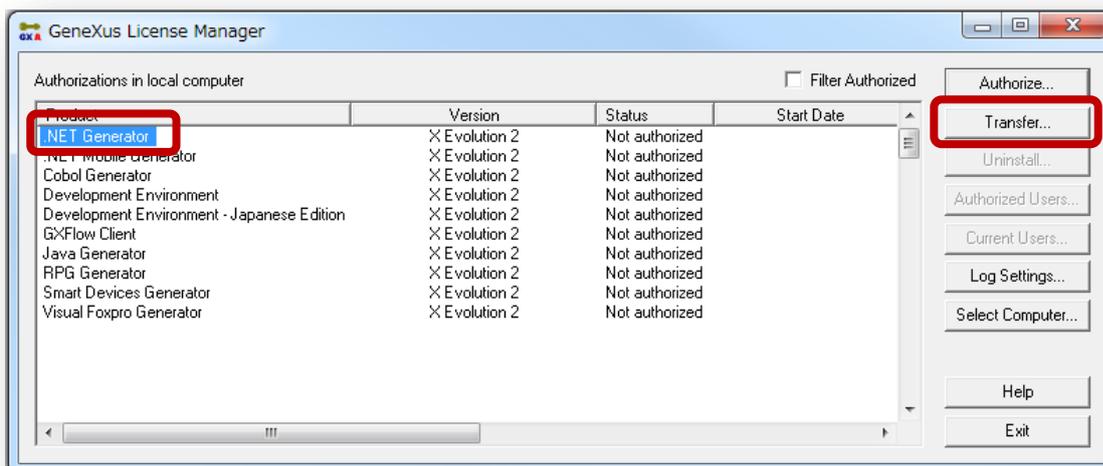
4. 「**Select Computer**」をクリックします。「Select Computer」ウィンドウが表示されます。



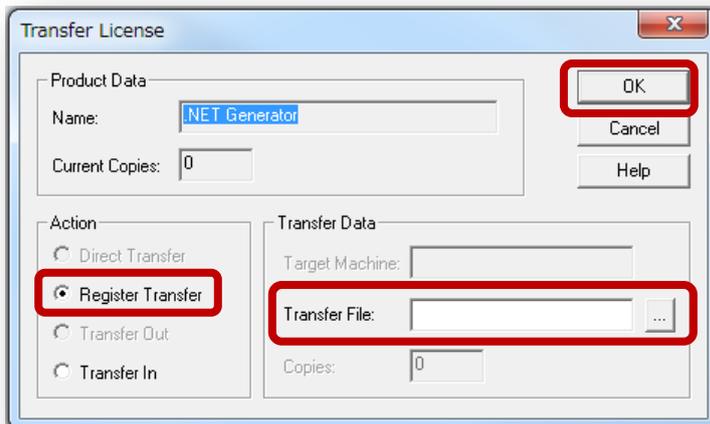
5. 「**Local License**」のオプションが選択されていることを確認し、「**OK**」ボタンをクリックします。

「License Manager」の起動画面に戻ります。

4. ライセンスを移行する製品名を選択してから、「**Transfer**」ボタンをクリックします。



5. 「Transfer License」画面が表示されたら、「Action」セクションの「Register Transfer」を選択し、「Transfer File」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、「GxProt.trf」ファイルの保存先を指定します。

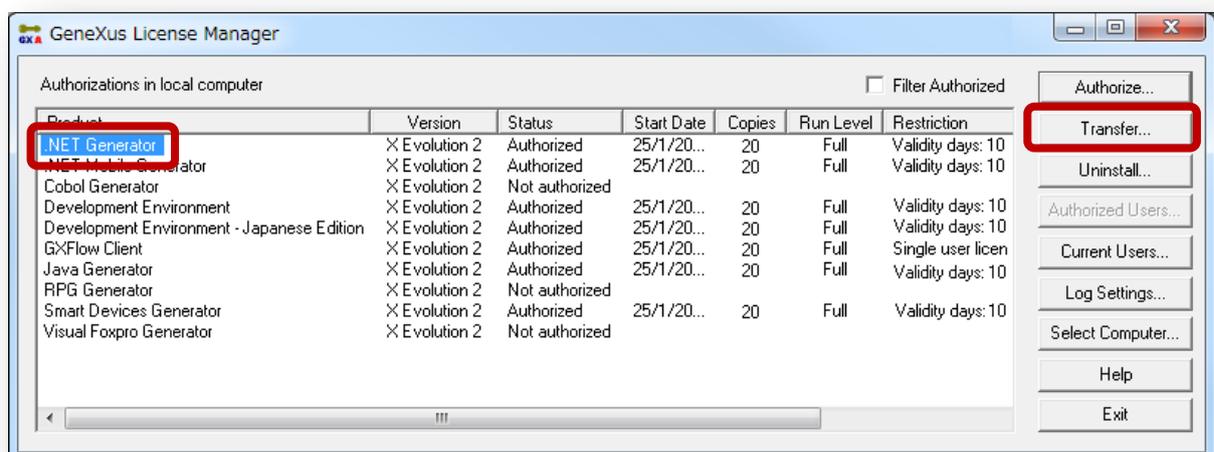


参考：「GxProt.trf」は既定のファイル名です。「.trf」の拡張子を持つ、任意のファイル名に変更してください。

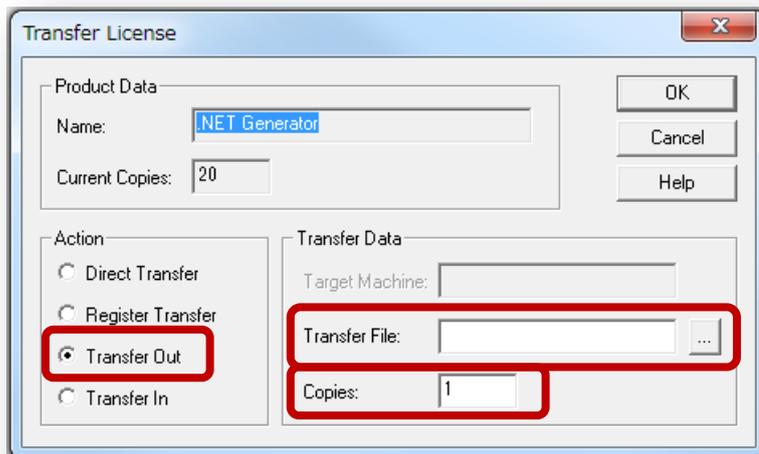
6. 「OK」をクリックします。ほかにも移行したいライセンスがある場合は手順 4～6 を繰り返します。
7. 「GxProt.trf」ファイル（複数のライセンスを移行する場合はすべての .trf ファイル）をソースマシン（ライセンスキーがインストールされているコンピューター）にコピーします。

この後、ソースマシンで操作を行います。

8. ソースマシンから「GeneXus License Manager」アプリケーションを起動します。次のような画面が表示されます。



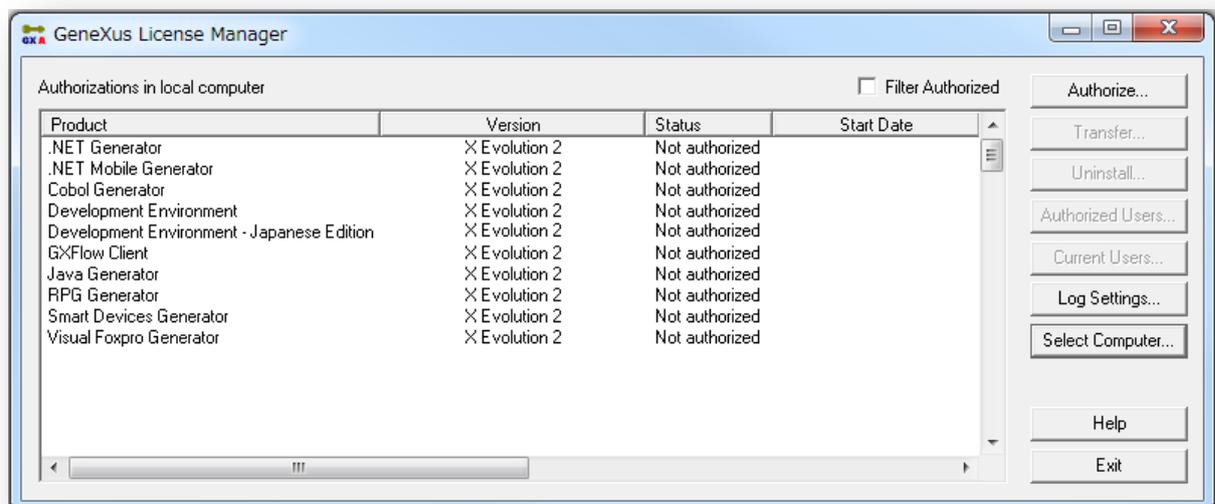
9. ライセンスを移行する製品名を選択してから、「**Transfer**」ボタンをクリックします。
10. 「**Action**」セクションの「**Transfer Out**」を選択し、「**Copies**」フィールドに必要な数を入力してから、「**Transfer File**」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、手順 5 の「**GxProt.trf**」ファイルを選択します。



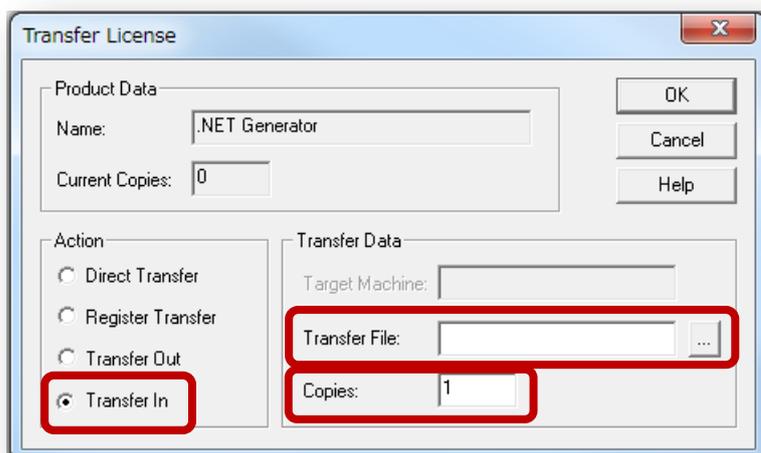
11. 「**OK**」をクリックします。ほかのライセンスも移行する場合は手順 9～11 を繰り返します。
12. ライセンスデータを格納した「**GxProt.trf**」ファイル（複数のライセンスを移行する場合はすべての .trf ファイル）をターゲットマシン（ライセンスの移行先）のにコピーします。

この後ターゲットマシン（ライセンスの移行先）に戻って操作を行います。

13. ターゲットマシンから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します。次のような画面が表示されます。



14. ライセンスを移行する製品名を選択してから、「Transfer」ボタンをクリックします。
15. 「Action」セクションの「Transfer In」を選択し、「Transfer File」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、手順 12 の「GxProt.trf」ファイルを選択します。



16. 「OK」をクリックします。ほかのライセンスも移行する場合は手順 14～16 を繰り返します。
これでライセンスの移行は完了です。

重要：ターゲットマシンでトランスファー(.trf)ファイルを作成後に、もう一度 .trf ファイルを作成しようとすると、警告画面が表示されます。これは .trf ファイルに格納される情報が異なるためです。はじめに作成されたファイルを使って、ソースマシンですでに「Transfer Out」処理が実行された場合、もう一度 2 度目に作成した .trf ファイルを使って「Transfer Out」処理をやりなおす必要があります。

ライセンスの再発行について

このセクションでは、予期せぬトラブルで GeneXus X Ev2 をインストールしているコンピューターが故障し、ライセンスの再発行が必要になった場合の手順について説明します。

トラブルによっては、エビデンスファイルを提出できる場合と、ハードウェアの破損により、エビデンスファイルを提出できない場合があります。それぞれのケースに応じた手順を説明します。

エビデンスファイルを提出できる場合

GeneXus License Manager のステータスを確認する

GeneXus X Ev2 が起動しない場合、「GeneXus License Manager」の「Status」欄に次のようなステータスが表示されている可能性があります：

- Suspended, data changed
- Suspended, authorization data changed

このようなステータスが表示される場合、次のことが考えられます。

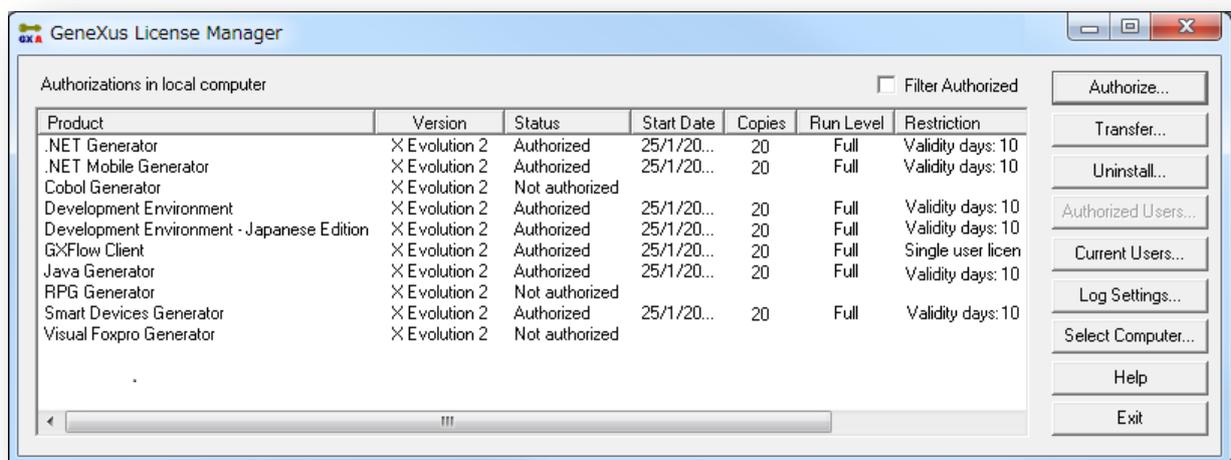
- GeneXus X Ev2 がインストールされている端末のシステム日付の変更
- レジストリー情報の修正
- OS のアップデートによるシステムの変更
- OS の不具合

重要： GeneXus X Ev2 をインストールしているコンピューターでは、システム日付を変更したり、レジストリー情報を書き換えたりしないでください。「GeneXus License Manager」がシステムデータに不正な変更が加えられたと判断し、GeneXus X Ev2 が使用できなくなる可能性があります。

エビデンスファイルを作成する

1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します (Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。



この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

2. 「GeneXus License Manager」の起動時の画面（上図を参照）のスクリーンショットを撮り、保存します。スクリーンショットには「**Product**」、「**Version**」、「**Status**」、「**Start Date**」、「**Copies**」、および「**Restriction**」の「**Validity Days**」の内容が表示されている必要があります。

重要：「**緊急ライセンス**」の発行が不要な場合は次の手順に従います。「**緊急ライセンス**」の発行が必要な場合は手順 3 の操作と手順 4 の C) のファイル (.gxa) は**不要**です。また、**緊急ライセンスを請求される場合**、メールにその旨を必ずお書き添えください。

3. 「[新規ライセンス請求](#)」(P24)の手順 2～7 にしたがいます。
4. メールアプリケーションで新規メールを作成し、以下のファイルを keystmaster@genexus.jp に送信します。
 - A) 「GeneXus License Manager」の起動画面のスクリーンショット
 - B) 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイル
 - C) 上記の手順で作成した「.gxa」ファイル

エビデンスファイルを提出できない場合

弊社に「ライセンス再発行依頼書」を請求し、必要事項を明記のうえ、社判を押印してから弊社に郵送してください。再発行依頼書の確認後に弊社より連絡を差し上げますので、別途ライセンスの請求手続き（新規ライセンス請求）を行ってください。ライセンス請求については、前述の「[新規ライセンス請求](#)」（P24）を参照してください。なお、ライセンス喪失により「**緊急ライセンス**」の貸与が必要な場合は、上記「**ライセンス再発行依頼書**」の **PDF ファイル** を添付し、お買い求めのパートナーまたは弊社(keystmaster@genexus.jp)までメールでご依頼ください。

緊急ライセンスについて

GeneXus Japan ではトラブルによりライセンスを喪失されたお客さまのために「緊急ライセンス」を発行しています。これはライセンスが再発行されるまでの暫定的な処置として用意されている 15 日間限定のライセンスです。したがって緊急ライセンスを取り込んだ後に、ライセンスの再発行(新規ライセンス請求)が必要となります。この場合、緊急ライセンスの残り日数が「**2 営業日**」となる前までに緊急ライセンスをアンインストールし、新規ライセンス請求を行ってください。ライセンスのアンインストールおよび新規ライセンス請求については、それぞれ、前述の「[ライセンスのアンインストール](#)」（P30）、「[新規ライセンス請求](#)」（P24）を参照してください。

付録：ライセンス請求・取得チェックリスト

このセクションでは、GeneXus のライセンスの発行および取り込みが円滑に行われるよう、ライセンス請求・取得における制限事項の遵守および実施内容に関する確認項目を記載しています。ライセンス請求・取得の際に、以下に記載されている項目がすべてチェックされているかどうかをご確認ください。記載されているチェック項目に 1 つでも当てはまらない項目がある場合（オプションを除く）、正しくライセンスが発行されない、または取り込めない可能性があります。

新規ライセンス請求・取得チェックリスト

- GeneXus のライセンスが発行されるのは、最短で請求日の翌営業日になるが問題ない
- 受付時間内（下記参照）にライセンス請求を行っている
土日祝日・月末日・年末年始を除く 9:00～16:00
- GeneXus License Manager から必要な製品をすべて選択してから.gxa ファイルを作成している
 - .Net Generator
 - .Net Mobile Generator
 - Development Enviroment – Japanese Edition
 - GXFlow Client
 - Java Generator
 - Smart Devices Generator
 - Development Environment **（オプション：GeneXus X Evolution 1 および Evolution 2 の以前のバージョンである Upgrade 2 Preview #3 を併用する場合）**
- WorkWithPlus など他の製品と同時にライセンスを請求するので、他の製品のインストールガイドに記載されている手順で個別にライセンス請求ファイルを作成している **（オプション：該当する場合）**

参考：新規ライセンス請求については「[新規ライセンス請求](#)」（P24）を参照してください。また、ライセンスの取得については「[ライセンス取得](#)」（P32）を参照してください。

継続ライセンス請求・取得チェックリスト

- GeneXus のライセンスが発行されるのは、最短で請求日の翌営業日になるが問題ない
- 受付時間内 (下記参照) にライセンス請求を行っている
土日祝日・月末日・年末年始を除く 9:00~16:00
- GeneXus License Manager の「状態」が「期限切れ」になっておらず、残存日数が **5 営業日以上**ある
- ライセンスが既に期限切れまたは残存日数が少ないので、ライセンスをアンインストールしてから新規ライセンス請求をしている (**オプション**: 該当する場合)
- GeneXus License Manager の起動画面のスクリーンショットを撮った (1)
- GeneXus License Manager から次のうち必要な製品をすべて選択してから.gxa ファイルを作成している (2)
 - .Net Generator
 - .Net Mobile Generator
 - Development Environment – Japanese Edition
 - GXFlow Client
 - Java Generator
 - Smart Devices Generator
 - Development Environment (**オプション**: GeneXus X Evolution 1 および Evolution 2 の以前のバージョンである Upgrade 2 Preview #3 を併用する場合)
- 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイルを用意した (3)
- 注文書に記載されているライセンス番号**を明記し、上記チェックリストのアイテム (1)~(3)を添付したメールを GeneXus パートナーまたは keysmanager@genexus.jp に送信するつもりだ
- WorkWithPlus など他の製品と同時にライセンスを請求するので、他の製品のインストールガイドに記載されている手順で個別にライセンス請求ファイルを作成している (**オプション**: 該当する場合)

参考: 継続ライセンス請求・取得については、「[継続ライセンス請求](#)」(P28)、「[ライセンス取得](#)」(P32)を参照してください。ライセンスのアンインストールおよび新規ライセンス請求については、「[ライセンスのアンインストール](#)」(P30)、「[新規ライセンス請求](#)」(P24)を参照してください。